



片柳中学校だより

片 柳

第2号 令和7年4月28日発行
さいたま市立片柳中学校
さいたま市見沼区大字御蔵551
TEL048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

言葉について

校 長 佐久間 貴宏

4月が終わろうとしています。この一か月間を皆さんはどのように振り返りますか。1年生は生活環境が変わったことへの不安と、順応しつつある安心感の双方があることと思います。2、3年生は進級したことによるクラスのメンバーの変化に対応しつつあり、クラスにおける自分の心の土台作りが進んでいることと思います。片柳中学校は4月29日（火）から5月6日（火）までの長い8連休となります。4月にたまった心身の疲れを癒すことや、自分の楽しみを追求すること、勉強や部活動、クラブチームの練習に没頭するなど、人それぞれ有意義に過ごしてください。

さて、今回は『言葉』について書きたいと思います。言葉は私たちのコミュニケーションの中心にあり、とても重要です。言葉一つで相手を助け、勇気づけることができます。しかし、時には意図せずに相手を傷つけてしまうこともあります。だからこそ、言葉を選ぶ際には相手の気持ちを考える必要があります。言葉を選ぶ際、例えば次のような視点が挙げられます。

- 思いやりをもつ…言葉を選ぶ際には、相手の気持ちを考えることが重要です。例えば、友達が困っている時には「大丈夫、君ならできるよ」と励ましの言葉をかけることで、相手に勇気を与えることができます。
- 明確に伝える……言葉が曖昧だと、誤解を招くことがあります。例えば、部活の作戦などを話す時には、「この部分をもう少し詳しく説明してもらえますか？」と具体的に伝えることで、相手が理解しやすくなります。
- 肯定的な表現……可能な限り肯定的な言葉を使うことで、相手を励ますことができます。例えば、「君のアイデアは素晴らしいね」と言うことで、相手の自信を高めることができます。

日本には古くから「言霊」という概念があり、発せられた言葉が現実に影響を与えると信じられてきました。例えば、ポジティブな言葉を使うことで、良い結果を引き寄せることができるとされています。一方、心理学の分野では「ピグマリオン効果」が知られています。これは、他人に対する期待がその人の行動や成果に影響を与える現象です。例えば、実験者が対象者に高い期待を持つと、その対象者は実際に成績が向上することが研究で示されています。

この二つのことを組み合わせると、言葉の重要性がよりわかってくるのではないのでしょうか。私たちが日常生活で使う言葉は、単なるコミュニケーションの手段だけでなく、現実を形作る力を持っています。ポジティブな言葉を使い、互いに高めあう言葉がけを行い、周囲の人々の行動や成果に良い影響を与えていきましょう。